

2021年度 小樽歯科衛生士専門学校  
学校自己評価

1、学校の教育目標

<教育理念>人間性豊かな歯科衛生士として、地域の保健医療に貢献できる医療人を育成する  
「愛と知と技を備えた」

2、評価項目の達成及び取り組み状況、今後の改善方を下記基準により点数評価する  
適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1

(1) 建学の趣旨と教育の方針 評価値：3

- ・学校の建学の趣旨と教育の方針の学生、保護者等への周知について  
文書、HP等を通じて周知を図っていく

(2) 学校運営 評価値：3

- ・教育理念に沿った学校経営方針について  
教職員の更なる連携が必要で、より改善していく。  
歯科医師会との情報の共有、連携をより強固にしていく
- ・就業規則、人事労務管理等の整備について  
就業規則を作成し、運用している。  
教職員の勤務状況等（勤務時間、出欠勤、休暇、出張）においては、  
出勤簿、届書、願い等が適切に提出され、記録、保管されている。
- ・コンプライアンスについて  
学生や保護者に対し、学校の発信物に記載する際の個人情報の保護  
について許可の書類提出を求めている。（不同意も可）  
改正民法に対応した誓約書・身元保証書を全学生が提出している。
- ・情報公開、情報システムについて  
学校ホームページに公開中

(3) 教育活動 評価値：3

- ・教育課程の編成について  
規程授業時間数を確保している。  
授業担当教員、歯科衛生士教育に適した人材の確保に取り組む。
- ・教育指導方法について  
教育内容充実の為、教員相互の情報、意見交換に取り組む。  
グループ学習やアクティブラーニングの手法を取り入れる。
- ・教育課程の実施について  
講義、校内実習、校外実習ともに感染症対策のため、内容の  
変更があったが、原則対面授業を実施した。  
オンライン授業の導入を一部開始した。  
実習先との連絡を密にし、実習先からの意見も取り入れる。  
臨床実習には週1度、学校にて抗原検査を実施してから出席させる  
ようにした。
- ・成績評価について  
出席状況を的確に把握、管理し、受験資格の有無確認を確実にやっている。  
試験終了後の成績会議を、本試験後、再試験後、再々試験後に  
開催し、公正に判定を行い、進級、卒業認定を行った。  
校外実習は、実習指導者による評価を実施している。  
学生に問題があれば、学校に連絡をいただき、連携して指導にあたった。
- ・教員の資質向上のための取り組みについて  
Web専任教員研修会へ参加した。  
その他研修会への参加を検討する。

(4) 学修成果 評価値：3

- ・国家試験について  
11月から試験準備講義を開始し、1月より夜間、土曜日の補講を実施した。  
難易度が上がっていると思われるが、本校は全員合格を達成した。
- ・退学者について  
入学前教育として、オリエンテーションを1回開催した。  
随時個人面談、3者面談を行った。  
1年生4名が退学した。1年時のモチベーションを高める必要がある。  
進級時の習熟度を厳正に判断していくことが必要である。

- ・就職について  
卒業生全員が就職した。例年よりも早期に全員内定を得ることができた。  
求人情報の開示時期や医院見学、面接開始時期を検討する。
- ・卒後の学生のフォローアップについて  
小樽市歯科医師会、本校同窓会と連携し、卒業後の動向等の情報を共有化し、リカバリー事業などへの参加につなげる。

(5) 学生支援

評価値：3

- ・進路、就職について  
就職希望調査を行い、専任が個人面談で詳細を聞き取り、希望に合わせた指導をしている。
- ・学生相談について  
担任専任との個人面談や、職員を含めた面談を行っている。
- ・経済的支援について  
小樽市歯科医師会奨励金、一人暮らし支援制度、遠距離通学支援制度  
社会人支援制度それぞれで支援を行っている。
- ・健康管理について  
健康診断の実施、B型肝炎の抗原抗体検査、ワクチン接種を行っている。  
新型コロナウイルス対策を徹底するように指導している。
- ・保護者との連携について  
定期的に、出欠状況や近況を記した文書を発信している。  
学校生活全体の様子や取組みを載せた文書の発行を検討する。
- ・卒業生への支援について  
歯科医師会主催のリカバリー事業への参加を、同窓会とも連携し  
より充実させていく。  
求職の問い合わせがあれば、相談や再就職を支援している。

(6) 教育環境

評価値：3.5

- ・施設、設備の整備について  
各教室の音響設備の更新や、空気清浄機の設置を歯科医師会と連携して行った。  
ZOOMを導入し、一部オンライン授業を開始した
- ・実習施設との連携について  
実習場との、より一層の連携が必要である。
- ・防災体制について  
避難訓練を実施している。(感染症の状況を鑑み3月に1回実施)

(7) 学生募集

評価値：3

- ・学生募集活動について  
高校訪問、進学相談会への参加、オープンキャンパスの開催などは、感染症  
拡大の影響をうけ、例年通りには行えなかった。結果新入学生は21名と減少した。  
今後も厳しい状況が続くことが予想されるが、感染症の状況に注視しながら、  
できることを考え、努力を続ける。
- ・広報活動について  
感染予防対策として、おたるワークステーション、小樽商科大学の学園祭、  
潮まつりが中止となるなど、広報活動の場が著しく制限された。  
しばらくは、この状況が続くと思われる。  
ホームページなどのWebコンテンツ等の充実を検討する。
- ・学生納付金について  
国の授業料減免対象の学生が多くなってきている。

(8) 財務

評価値：3

- ・中期的な財政基盤について  
新入生の数が減少したため、収入が減少することが予想される。  
次年度以降の学生増が必要となる。
- ・予算、収支計画について  
現状に即した計画を立てている。
- ・会計監査について  
年2回、適正に行われている。
- ・財務情報の公開について  
ホームページにて公開している。